

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書②

道府県・政令市名【 岐阜県 】

1 実践テーマ	【 Ⅲ 】
2 実施対象者	郡上市立明宝小学校 第6学年（8名）
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ 道徳 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） （2）地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目 標 （ねらい）	・パラリンピックやパラリンピックスポーツを知ることを通して、パラリンピックスポーツが障がいの種類の程度に関わらず、公平に競技できるように工夫されていることを知ることができる。 ・パラリンピックスポーツを通して、実生活の中で公平な言動ができるようになりたいという気持ちをもつことができる。
5 取組内容	1 道徳の授業 『I'm Possible』を使った学習 1-1 「パラリンピックって何だろう」 ・パラリンピックスポーツで使用される道具から、パラリンピックスポーツの素晴らしさを知る。 ・パラリンピックの歴史や意義を知る。 ・車いす体験をする。→校舎内を車いすで移動する。 2 道徳の授業 『I'm Possible』を使った学習 1-3 「公平についてかんがえてみよう！」 ・原市さんの体験を通して、クラスみんなが障がいのあるなしに関わらず、一緒に楽しもうとしていることを掴む。 ・みんなが楽しめるルールを考える。 ・自分たちの生活の中の公平について考える。
6 主な成果	（児童の感想より） ・私は車いすに乗っていても、みんなと一緒に楽しみたいと思っていると思うので、みんなのことも考えて公平にすれば、みんなで楽しめるんだなと思いました。 ・ルールを決める時は、みんなで話し合っ、作ることが大切だとわかりました。 ・パラリンピックは、誰もがベストを尽くすチャンスがあると気付かせる力があると初めて知りました。 第6学年ということもあり、障がい者スポーツについての知識もある程度持っていたが、その意義やスポーツをする上での工夫については、あまり理解していなかった。日常生活の中で、低学年と一緒に遊ぶ時にはルールを簡単にする等、子どもたちなりに工夫はしているが、みんなが楽しめるという観点で考えるよい機会となった。 「公平」について考えるのは難しいが、第6学年だからこそ、身近に感じられる学習であったと思う。

7実践において工夫した点 (事業の特色)	第6学年は総合的な学習の時間に「住みよい明宝」をテーマに学習している。その学習と関連付けている。
8主な課題等	『I'm Possible』を使った学習を位置付けた。授業ガイドや指導案、シートがあり、事前準備等に助かった。シートが裏表に印刷されていたので、使いにくかった。 - 総合的な学習の時間の教材として実施しようか迷ったが、公平について考えさせたいという願いから、道徳の時間に実施した。今後、車いすバスケット選手との交流を考えると、総合の時間に位置付けた方がよかったと思った。
9来年度以降の実施予定	児童の実態や学習内容と照らし合わせて、『I'm Possible』を使った学習を位置付けていきたい。また、郡上市内出身の車いすバスケット選手の講話だけでなく、体験も取り入れていきたい。